

平成 27 年度 九州大学大学院経済学府修士課程入学試験問題 (一般選抜)

マクロ経済学

次の 2 問から、1 問を選択し解答しなさい。

問1. 経済成長の理論について、以下の各小問に答えなさい。なお、政府部門は存在せず、 Y_t を GDP、 K_t を資本ストック、 L_t を労働人口、貯蓄投資は $I_t = S_t$ (I_t を投資、 S_t を貯蓄) であると仮定する。(tは時点を表す添え字であり、元の変数の小文字が一人当たりを表すものとし、途中式を省略せず回答せよ。)

- (1) 技術進歩の存在しないソロー・モデルを考える。人口成長率 n 、貯蓄率 s はそれぞれ一定であるとし、生産関数は規模に対して収穫一定で $Y_t = F(K_t, L_t)$ 、貯蓄関数 $S_t = sY_t$ でそれぞれ表されたとする。定常状態における一人当たり資本ストック k^* と資本ストック水準の成長率 g_t^k をそれぞれ求めよ。
- (2) 貯蓄率 s が上昇した場合、小問(1)の定常状態における一人当たり資本ストック水準と一人当たり GDP はどのように変化するか。図を描き解答しなさい。
- (3) 生産関数が $Y_t = K_t^{1/2} L_t^{1/2}$ であり、貯蓄率が $s = 0.4$ 、人口成長率が $n = 0.2$ の時、均斉成長における一人当たり資本ストックと一人当たり GDP はそれぞれいくらか。

問2. 経済政策に関する以下の小問に答えよ。

- (1) 閉鎖経済において、投資の利子弾力性が無限大である経済について考える。IS-LM モデルを用いて、財政拡張政策を行うと利子率と GDP はそれぞれどのような影響を受けるかを、図を描いて解答せよ。
- (2) 資本移動が自由な環境で、変動相場制度を採用している経済を考える。マンデル＝フレミング・モデルを用いて、金融拡張政策を行った場合と財政拡張政策を行った場合の利子率と GDP に対する影響についてそれぞれ図示し、そのような結果になるメカニズムについて説明せよ。